



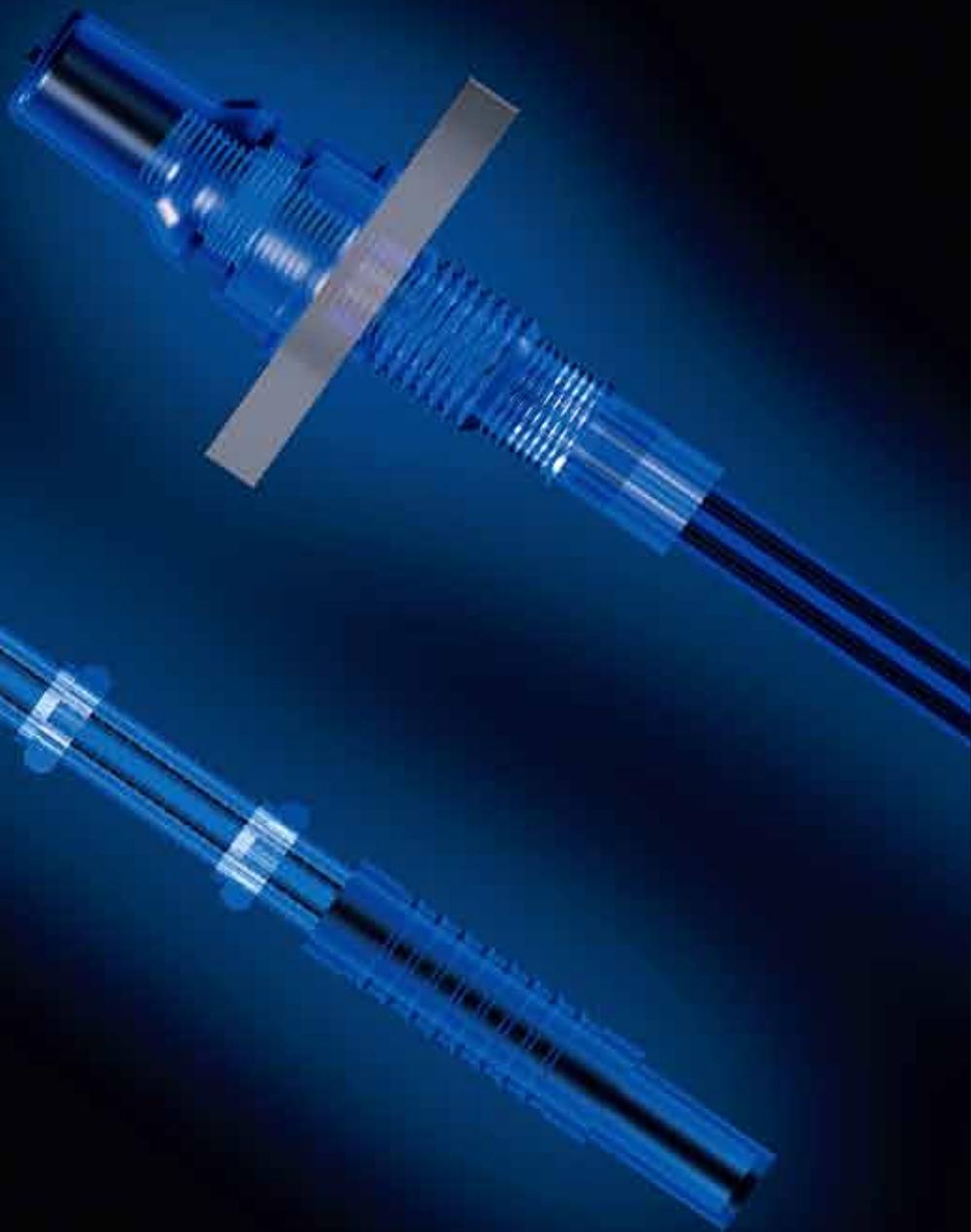
(一財)砂防・地すべり技術センター
建設技術審査証明書(砂防技術)取得
(平成26年8月10日更新)
技審証第 0401 号

国土交通省新技術情報提供システム
NETIS 登録No. KT-990309-V

SEEEグラウンドアンカー工法

高耐久構造／ナット定着／摩擦圧縮型
ダブルアンカーM型

ランクA／防食構造Ⅱ相当(地盤工学会基準)



SEC 株式会社 **エスイー**

建設技術審査証明書



技術名称：SEE Eグラウンドアンカー工法
(ダブルアンカーA型、U型、M型)

技審証第 0401 号

開発の趣旨

アンカー工法として、ダブルアンカーA型、U型、M型を用いアンカー全体にわたって、材料的にも構造的にも確実な防錆対応を施して、砂防分野で用いられるアンカーの耐久性を得る。

開発目標

- (1) 地震による衝撃荷重や繰返し荷重に対して、アンカー直部のナット定着構造により、確実な定着機能が維持できること。
- (2) 地すべり変位や地盤の変形・地震等の影響でアンカーの緊張力が削減した場合でも、アンカー直部のナットを回転させることにより容易に適切な緊張力に応じて、その調整量が大きく複数回の調整が可能であること。
- (3) アンカーを構成する材料が長期にわたり耐久性を保持できること。
- (4) 構造的にアンカーが長期にわたり耐久性を保持できること。
- (5) ダブルアンカーM型は摩擦抵抗が小さい地盤に対して有効であること。

一般財団法人 砂防・地すべり技術センターの建設技術審査証明事業（砂防技術）実施要領に基づき、依頼のあったSEE Eグラウンドアンカー工法（ダブルアンカーA型、U型、M型）の技術内容について下記のとおり証明する。

平成 16 年 8 月 10 日
変更 平成 21 年 8 月 10 日
更新 平成 26 年 8 月 10 日

建設技術審査証明協議会 会員
一般財団法人 砂防・地すべり技術センター

理事長 **近藤 浩一**

記

1. 審査証明の結果

上記開発の趣旨、開発目標に照らして審査した結果、本工法は以下のとおりであった。

- (1) 頭部定着具の耐久性
ナット定着方式の頭部定着具は、衝撃荷重載荷試験結果および地震を受けたアンカーの調査等により、構造的に耐久性を有すると認められる。
- (2) 緊張力調整の性能
頭部定着具の構造から、使用中にアンカー緊張力が変動しても大きな幅で緊張力を調整することができること、およびその調整が複数回可能である性能を有すると認められる。
- (3) 材料性能による耐久性
ダブルアンカーA型、U型、M型ともに、被覆材として用いられるポリエチレン樹脂は、アンカーの一般的な使用環境下では材質の劣化を生じ難く防錆油も十分な耐浸水性を有することから、材料的に見てアンダーは長期にわたり耐久性を保持できると認められる。
- (4) 構造性能による耐久性
ダブルアンカーA型、U型、M型は、全長が二重防食構造となっており、各部分の水密性および強度は一般の使用に十分耐えられ、構造的にみて本アンカーは長期にわたり耐久性を保持できると認められる。
- (5) 摩擦抵抗が小さい地盤への適応性
ダブルアンカーM型の耐荷体はその構造により、第三紀の泥岩・シルト岩・凝灰岩等軟弱なスレーキングを生じやすい岩盤や粘性系地盤のように、摩擦抵抗が小さい地盤において有効であると認められる。

2. 審査証明の前提

- (1) 本工法の材料製作は適正な品質管理のもとに行なわれるものとする。
- (2) 本工法の設計、施工および維持管理については別途「SEE Eグラウンドアンカー工法設計・施工マニュアル（平成26年6月版）」に基づき適正な管理のもとに行なわれるものとする。

3. 審査証明の範囲

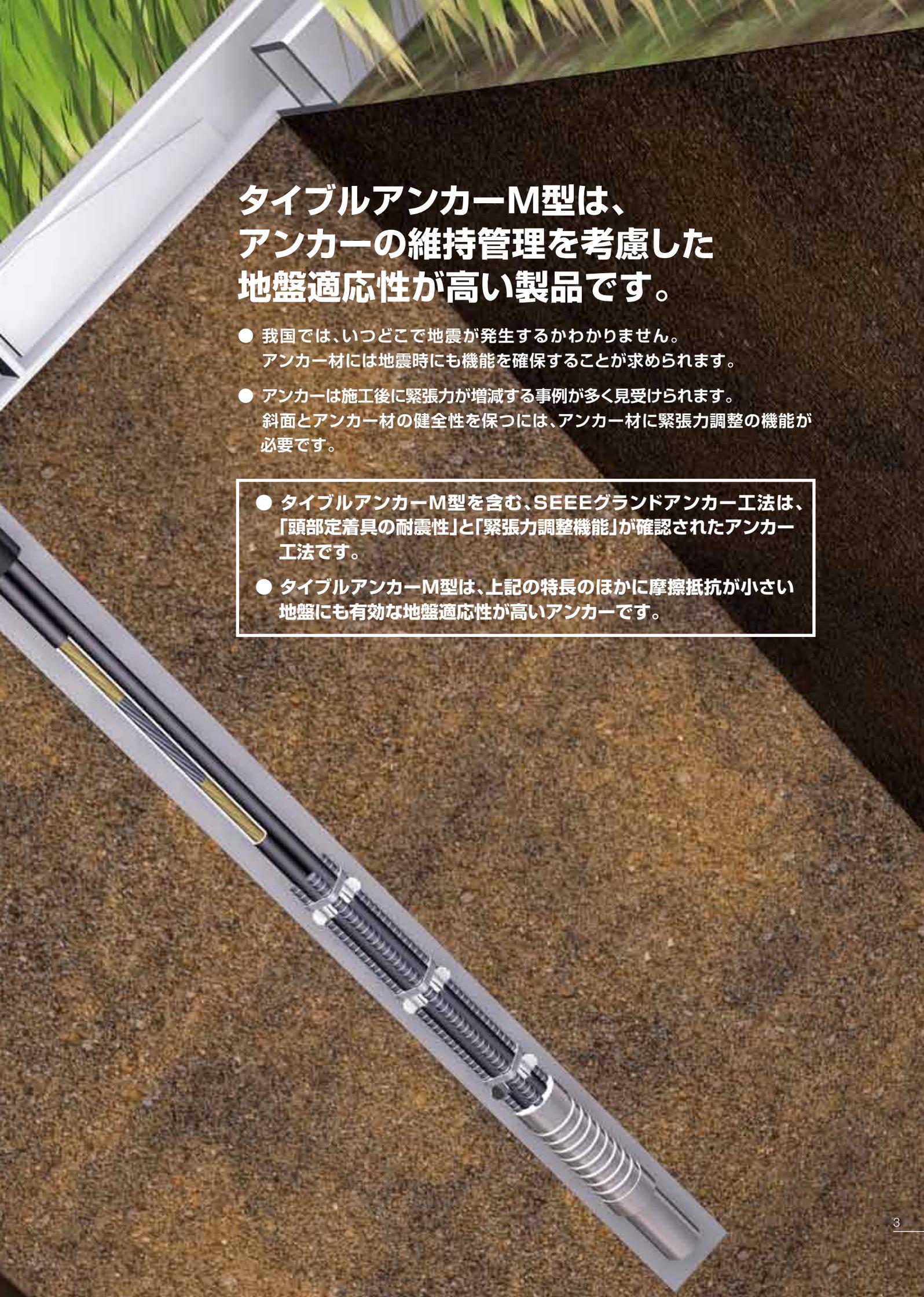
審査証明は依頼者より提出された開発の趣旨・開発目標に対して設定したアンカーの材料性能、構造性能、施工性能の範囲とする。

4. 審査証明の詳細（別 添）

5. 審査証明の有効期限 平成 31 年 8 月 9 日

6. 審査証明の依頼者

株式会社エスイー 所在地 東京都新宿区西新宿6丁目5番1号



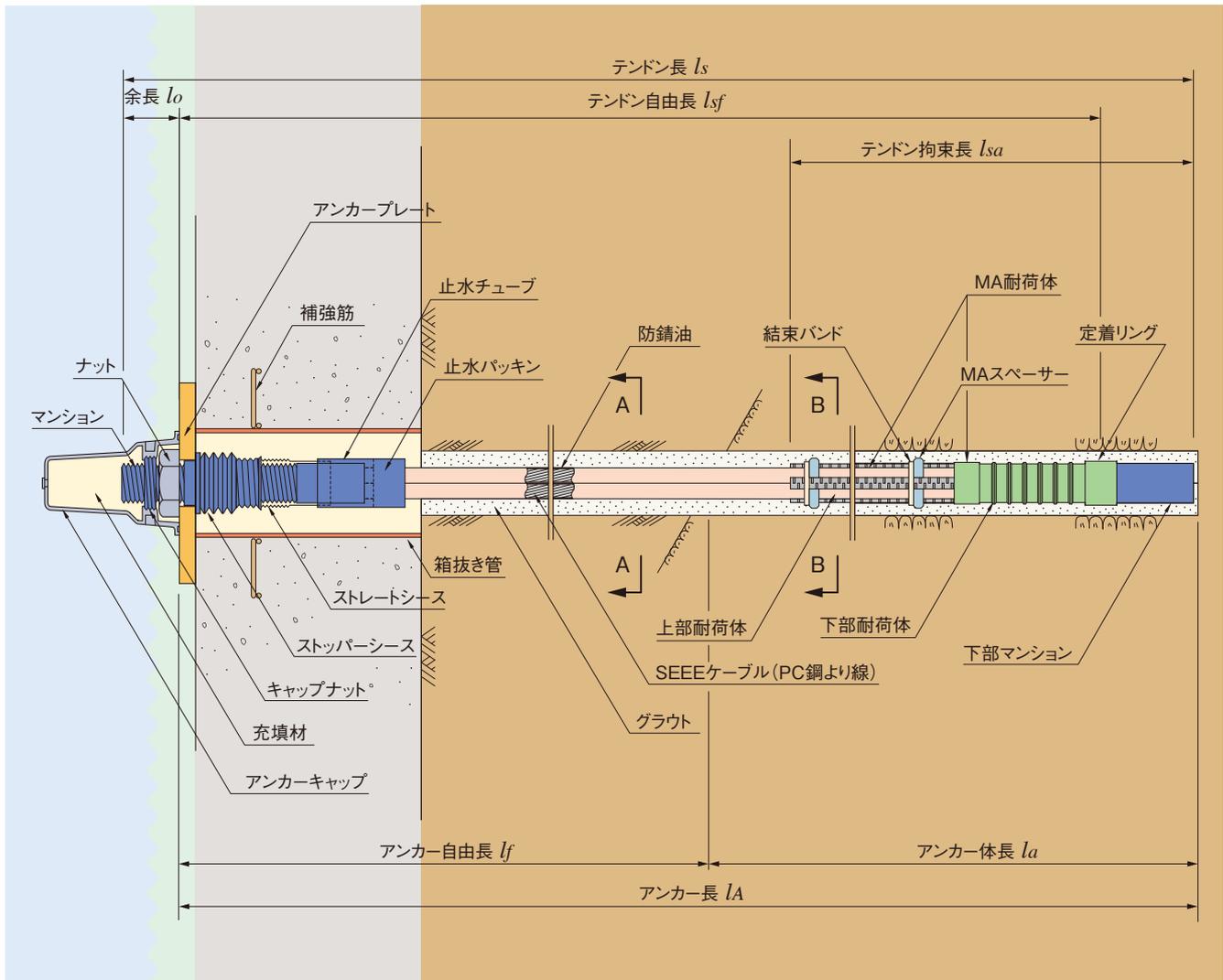
ダブルアンカーM型は、 アンカーの維持管理を考慮した 地盤適応性が高い製品です。

- 我国では、いつどこで地震が発生するかわかりません。
アンカー材には地震時にも機能を確保することが求められます。
- アンカーは施工後に緊張力が増減する事例が多く見受けられます。
斜面とアンカー材の健全性を保つには、アンカー材に緊張力調整の機能が
必要です。

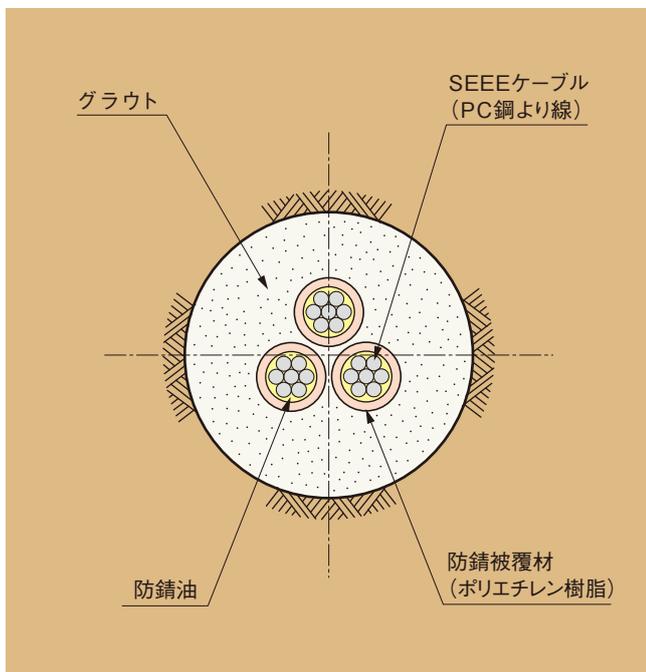
- ダブルアンカーM型を含む、SEEEグランドアンカー工法は、
「頭部定着具の耐震性」と「緊張力調整機能」が確認されたアンカー
工法です。
- ダブルアンカーM型は、上記の特長のほかに摩擦抵抗が小さい
地盤にも有効な地盤適応性が高いアンカーです。

構造と特長

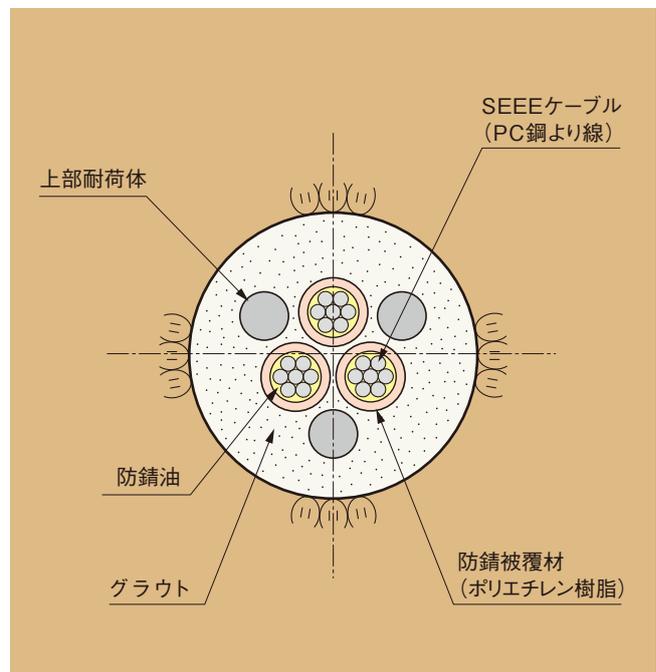
標準構造図



A-A 断面



B-B 断面



シンプルな構造で細径化を実現、 ハイグレードな品質を維持しています。

テンドンの構成

ダブルアンカーM型を構成するテンドンは、JIS G 3536に規定されている低リラクセーション材の、7本よりPC鋼より線φ15.2mmを用い、これを1〜7本束ねて使用し、マンション圧着加工を行ない一体化します。

ダブルアンカーM型は、PC鋼より線φ15.2mmの構成本数を変えることにより、許容荷重 $Tas=156.6\sim 1096.2\text{kN/本}$ の範囲で7種類のタイプを揃えています。

防食構造

1. アンカー頭部プレート前面

- アンカーキャップと充填材(防錆油、防食テープ)で保護されます。

2. アンカー頭部プレート背面

- ストッパーシース、ストレートシース、防錆油により外部からの水や有害物質を遮断します。
- マンションの付け根部は、マンションと被覆材をラップさせ、圧着時の周圧力を作用させて高い防水性を確保し、テンドンを腐食から守ります。

3. 自由長部およびアンカー一体

- テンドンは、防錆油を充填した被覆材により、全長にわたりグレードの高い二重防食構造になっています。
- 圧縮型アンカーの特性により、グラウトは全長にわたり圧縮力を受けるため、テンションクラックが生じず、グラウトが防食の一つとして有効に働きます。

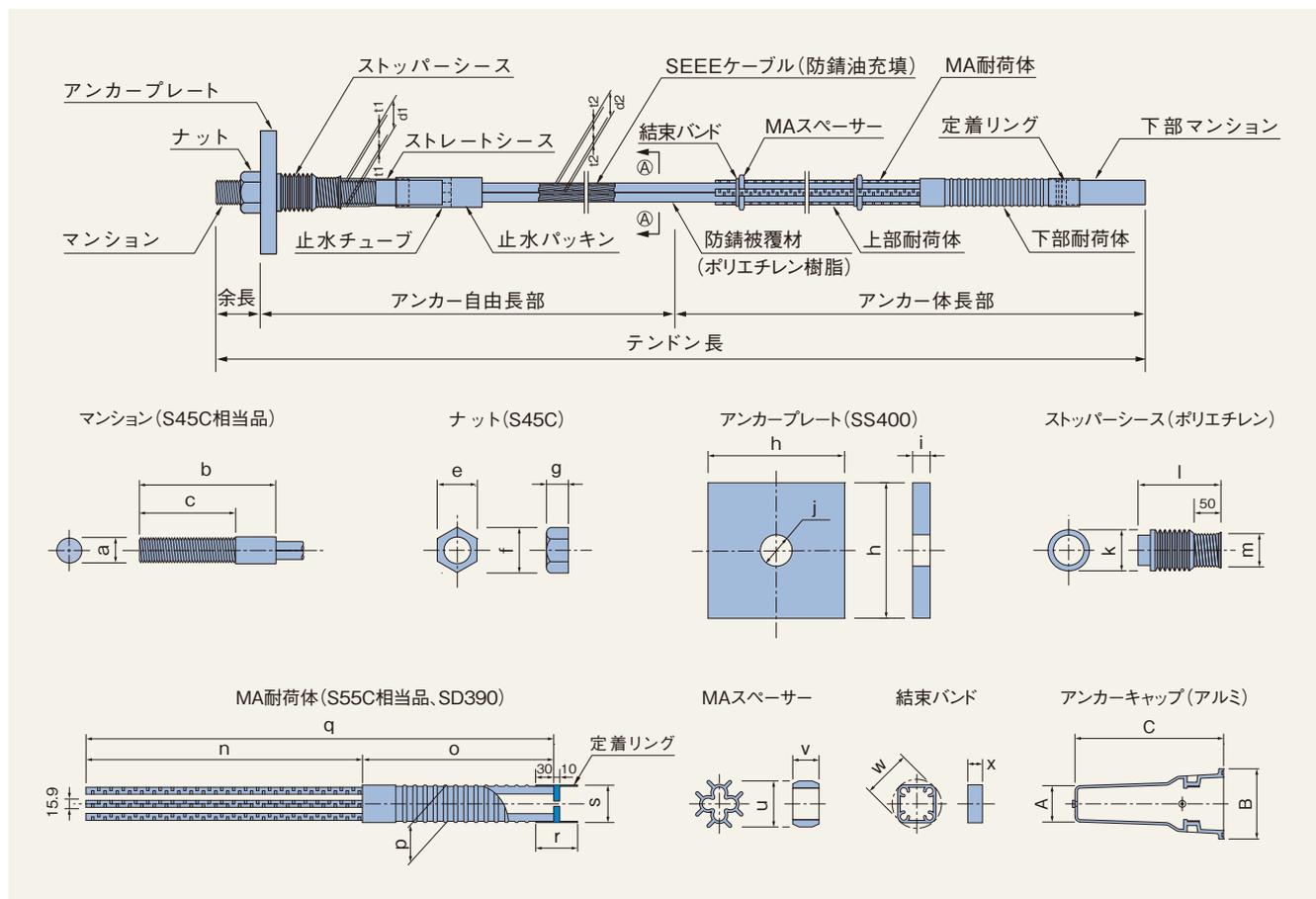
特長

1. 頭部定着具がナット式で緊張力調整の性能に優れているため、将来の緊張力変動への対応が容易で経済的です。
2. 二重防食構造を採用しているため、耐久性にきわめて優れています。[防食レベル/防食構造Ⅱ相当(地盤工学会基準)]※
※高腐食環境下での本製品の適用については弊社までお問い合わせください。
3. 頭部定着具は、地震時でも定着機能を確保できることが確認されています。
4. 圧縮型アンカーの特性により、以下の優位性があります。
 - グラウト材が全長にわたって圧縮力を受けるため、テンションクラックが生じない。
 - 地盤内のせん断抵抗が大きい。
 - クリープ特性が安定している。
 - 繰返し荷重に対して安定している。
 - アンカー一体には孔底から圧縮力が作用するため、定着地盤に不陸があっても対応できる。
5. アンカー部材は工場において製作・組立てを行うので、高品質が確保されます。
6. 現場での防食加工などの組立て加工がないため、省力化が図れます。



規格値

ダブルアンカーM型 (F-MA型)



ケーブル構成表

項目		呼名	F20MA	F50MA	F80MA	F100MA	F130MA	F160MA	F190MA
構成			1×φ15.2	2×φ15.2	3×φ15.2	4×φ15.2	5×φ15.2	6×φ15.2	7×φ15.2
断面積 (mm ²)			138.7	277.4	416.1	554.8	693.5	832.2	970.9
単位質量 (kg/m) (PC鋼より線)			1.10	2.20	3.30	4.40	5.50	6.60	7.70
ダブル質量 (kg/m) (PC鋼より線+防錆油+ポリエチレン)			1.25	2.50	3.75	5.00	6.25	7.50	8.75
引張荷重 T _{us} (kN)			261	522	783	1044	1305	1566	1827
降伏点荷重 T _{ys} (kN)			222	444	666	888	1110	1332	1554
※注1 許容荷重 T _{as} (kN)	地盤工学 学会 ラング A	常時 0.6T _{us}	156.6	313.2	469.8	626.4	783.0	939.6	1096.2
		地震時 0.9T _{ys}	199.8	399.6	599.4	799.2	999.0	1198.8	1398.6
断面図 (A-A)									

定着具寸法表

(mm)

項目		呼名	F20MA	F50MA	F80MA	F100MA	F130MA	F160MA	F190MA	
マンション	a	42	55.4	55.4	72	72	72	78		
	b	420	470	470	570	620	670	670		
	c	250	300	300	400	450	500	500		
	質量(kg)	4.2	8.9	8.7	18.1	17.9	20.9	23.7		
下部マンション	a'	42	55.4	55.4	72	72	72	78		
	b'	180	180	180	180	180	180	180		
	質量(kg)	1.5	3.1	3.1	5.4	5.2	5.0	5.1		
ナット	e	63	82	82	110	110	110	115		
	f	72.7	94.7	94.7	127.0	127.0	127.0	132.8		
	g	34	45	45	63	63	63	63		
	質量(kg)	0.6	1.2	1.2	3.1	3.1	3.1	3.0		
※注2 アンカープレート (標準寸法)	h	200	240	260	300	320	350	360		
	i	25	30	36	36	38	40	45		
	j	52	65	65	83	83	83	88		
	質量(kg)	7.4	12.8	18.2	23.9	28.9	36.8	43.6		
ストッパーシース	k	70	85	85	100	100	100	110		
	l	165	170	170	265	265	265	270		
	m	54.4	68.8	68.8	85.4	85.4	85.4	91.4		
ストレートシース	d1	47	61.4	61.4	78	78	78	84		
	t1	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5		
※注3 MA耐荷体	上部	n1	1080	2080	2180	2260	2660	2730	3030	
		n2	1580	3480	3680	3560	4560	4630	5230	
		本数	2	2	3	4	4	5	6	
	下部	o	320	320	320	440	440	470	470	
		p	58	60	63	78.5	78.5	81.2	85	
		耐荷体長	q1	1400	2400	2500	2700	3100	3200	3500
			q2	1900	3800	4000	4000	5000	5100	5700
防錆被覆材	d2	19.6	19.6	19.6	19.6	19.6	19.6	19.6		
	t2	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0		
定着リング	r	70	70	70	70	70	70	70		
	s	58	60	63	78.5	78.5	81.2	86		
MAスペーサー	u	—	69	69	86	86	86	86		
	v	—	30	30	30	30	30	30		
結束バンド	w	66	56	66	82	82	83.2	84		
	x	20	20	20	20	20	20	20		
アンカーキャップ	A	81	75	75	110	110	110	110		
	B	145	145	145	190	190	190	190		
	C	205	305	305	355	355	355	355		
※注4 長マンション(最大値)	b max	620	670	670	770	770	870	870		
	c max	450	500	500	600	600	700	700		

※注1. 許容荷重は、地盤工学会「グラウンドアンカー設計・施工基準」(JGS4101-2012)分類ランクAにもとづく。

2. アンカープレートの寸法は、コンクリート設計基準強度が、 $f'_{ck}=21\text{N/mm}^2$ の場合の標準寸法を示す。

3. n1,q1は、アンカー体に対する拘束力が大きい地盤で、砂質系地盤(N値50以上)および良好な岩盤に適用する場合の定着体長さを示したものの、n2,q2は、その他の地盤に適用する場合の耐荷体長さであるが、採用に当たってはお問い合わせください。

4. マンション製作最大長を示す。

SEC 株式会社 **エスイー**



環境認証範囲は山口工場と本社部門

本 社 〒163-1343 東京都新宿区西新宿6丁目5番1号(新宿アイランドタワー) TEL(03)3340-5548 FAX(03)3340-5546



● 当社の詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。 <http://www.se-corp.com>